

令和7年度第1回郡山市中小企業及び小規模企業振興会議

「選ばれるまち郡山」の実現を目指して



【平成6年の郡山駅西口ロータリー】



【現在の郡山駅西口ロータリー】



日時：令和7(2025)年10月8日(水) 15：00～

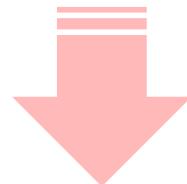
郡山市 農商工部 産業雇用政策課

郡山市政における **3** つの基本方針

I 選ばれるまち

II 暮らしの充実・笑顔になれるまち

III 経済の活性化



若者が郡山で働き、暮らし、家族を築く未来を支える経済環境の整備

○ 拡 KORIYAMA発スタートアップをサポート①



1,552万円

～創業・事業承継支援事業の一部～

フェーズ → 【創業期】 【発展期】 【定期】 【事業承継】

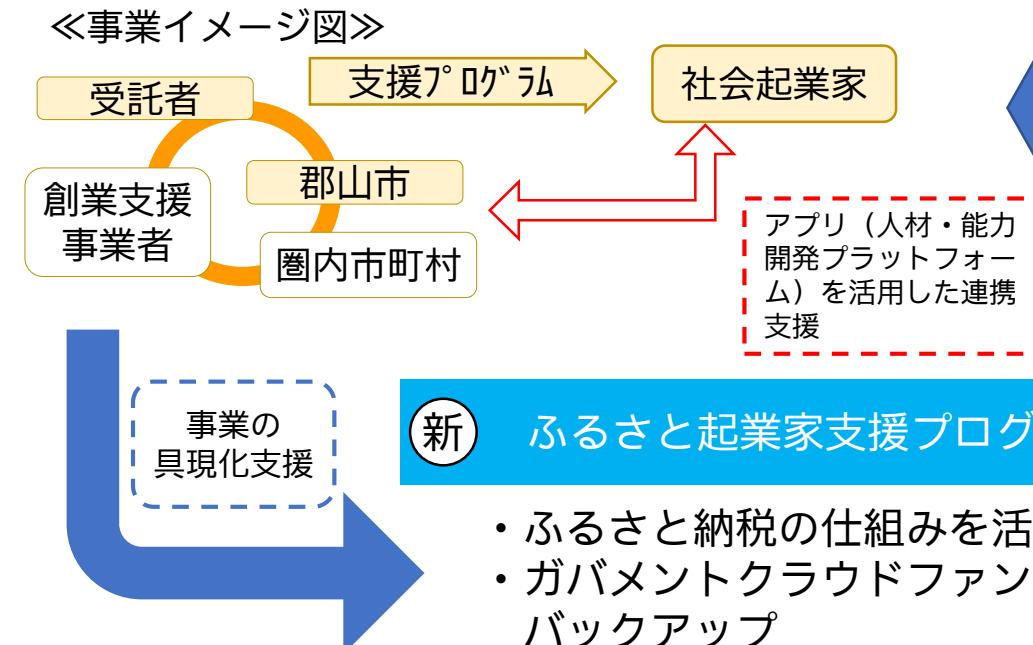
スタートアップや新たな事業創出・販路開拓を目指す事業者を後押しするため、伴走支援や経費を支援するとともに、次世代の起業家育成にも取り組みます。

社会起業家加速化支援プログラム 1,095万円
[伴走支援]

こおりやま広域圏の社会起業家等を対象に、事業の成長を加速させるための伴走支援を実施し、ビジネスモデル構築、社会起業家のロールモデルを育成

新 起業家教育プログラム [伴走支援] 357万円

「起業家精神」や「ビジネス知識」等の教育プログラムを実践や起業家との交流を通じて実施し、次世代の起業家を育成



○対象 こおりやま広域圏内の高校生・
専門学校生等 20名程度

○教育プログラム（案）

- ・先輩起業家による講演・レクチャー
 - ・社会課題解決に向けたワークショップ
 - ・事業アイデアのブラッシュアップ
 - ・報告会でのプレゼンテーション



新 ふるさと起業家支援プログラム「資金支援」100万円

- ・ふるさと納税の仕組みを活用した資金調達支援
 - ・ガバメントクラウドファンディングのスキームにより
バックアップ



I 選ばれるまち

(拡) KORIYAMA発スタートアップをサポート②



1,045万円

～創業・事業承継支援事業の一部～

フェーズ	→ 【創業期】	【発展期】	【安定期】	【事業承継】
------	---------	-------	-------	--------

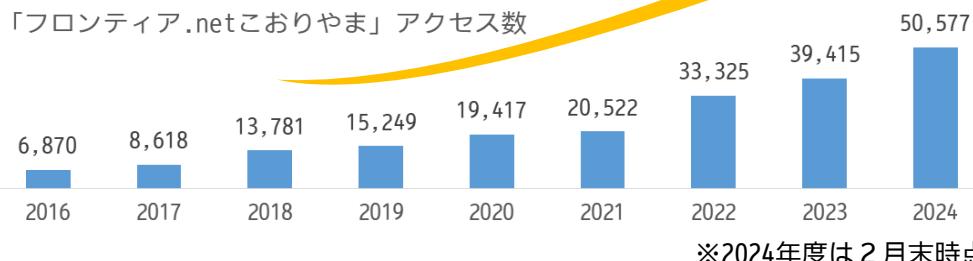
(拡)	創業・事業承継支援情報発信事業 [情報発信]	193万円	(継)	スタートアップ支援補助金 [資金支援]	500万円
-----	---------------------------	-------	-----	------------------------	-------

KORIYAMA発のスタートアップをさらに後押しするため、2015年開設の「フロンティア.netこおりやま」を「2.0」へリニューアル

【リニューアルする内容】

- ★ ユーザーが求める情報に、よりアクセスしやすく、より分かりやすく
- ★ 事業者自身による迅速な情報更新
- ★ 掲載情報・相互リンク等の充実
 - ・ スタートアップ支援補助金やハンズオン支援、募集状況、イベント開催情報等を充実
 - ・ 地域クラウド交流会等イベントと相互リンク

創業・事業承継への関心の高まりに伴い
アクセス数は年々増加



市の創業支援事業等を経て創業した者を対象に、経費の一部を補助

タイプ	対象経費	補助上限額	補助率
社会起業家 加速化支援 プログラム 採択者	使用料 賃借料 工事請負費 (内外装費) 備品購入費	50万円	1/2
その他一般 スタートアップ	備品購入費	10万円	1/2

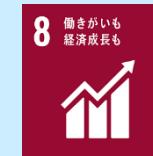
(継)	専門家・メンター・クリエイター派遣事業 [伴走支援]	352万円
-----	-------------------------------	-------

弁護士、中小企業診断士、社労士等を
経営相談等の申込があった事業者に派遣
○ 派遣回数 120回予定



(新)学生Uターン・地元雇用促進事業

～将来を見据えた職業体験イベントの開催～



523万円

- ・県外の大学等に進学を希望する高校生を対象に、「職業体験イベント」を開催し、地元の産業や企業の魅力をPRすることにより、将来的なUターン就職につなげる。
- ・市内に立地する企業（大企業を含む）の人手不足・人材不足の解消に貢献する。

1 事業概要

【日時】2025年7月9日（水）10:00～16:00
 【会場】宝来屋 ボンズアリーナ（郡山総合体育館）

2 対象者

こおりやま広域圏内の進学希望者の多い高校
 1年又は2年生（参加者は、約1,000人を想定）
 ※学習指導要領に基づく「総合的な探求の時間」を活用して参加

3 参加企業数

こおりやま広域圏内の企業 20社程度
 （立地企業、IT、医療、介護 等）

【体験ブース例】（未来ビューこおりやま2024会場の様子）



生成AI & ノーコード
ツール体験（IT）



腹腔鏡下シミュレーター
による手術体験（医療）

現状と課題

進学者は高校卒業まで地元企業を知る機会がない

高校生向け職業体験イベント

「みらい発見フェスこおりやま2025」

将来像

県外への進学を希望する高校生

⇒ 地元企業の認知度向上 ⇒ 将来の地元就職を促進
 ⇒ こおりやま広域圏の産業・経済の発展

新 企画ブース

地元での起業・創業も視野に！

高校生の地元での将来の選択肢を増やし、地域経済の活性化を促進するため、市内の先輩起業家との交流の場を設定し、高校生の地元事業者の新たな取り組みや地元での起業の可能性に対する認知・理解を深める。



I 選ばれるまち

(拡) DX採用活動を支援

～労働情報発信事業～・～中小企業就労支援事業～・～人材育成事業の一部～



818万円

フェーズ

【創業期】

【発展期】

→ 【定期期】

【事業承継】

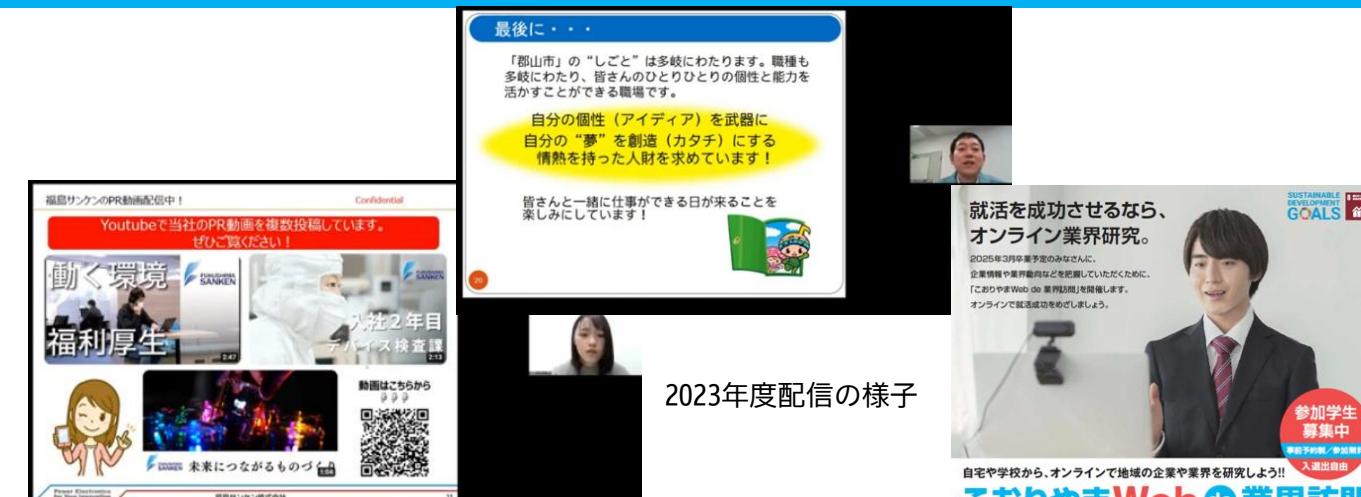
Z世代（新規学卒者）等のデジタル就職活動ニーズに対応したオンライン業界研究や企業PR動画の作成の推進によりDX採用活動を支援します。

(拡) 労働情報発信事業「Web de 業界訪問+（プラス）」

437万円

デジタル就職活動ニーズに対応した就職・採用活動支援のためオンラインによる企業説明会及び参加企業によるスカウト型マッチング事業を実施し、地元企業の魅力発信により人材確保を図る。

- 対象者：2027(令和9)年3月卒業予定の大学生等
- 参加企業：こおりやま広域圏内の中小企業等



2023年度配信の様子

(継) 地元企業プロモーション事業

203万円

Z世代の学生と市内企業が協働でショート動画を作成し、若者に向けて広く公開し、地元企業への関心を高める。
(ウェブ等での周知、コンテスト開催、産業博での表彰)



(継) 人材育成補助金

178万円

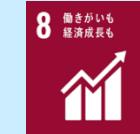
中小企業が従業員に成長分野の知識・技術を習得するリスキリング等の費用の一部を補助



- 対象者：市内の中小企業
- 補助率：1/2（上限30万円）
- 対象研修機関：独立行政法人中小企業基盤整備機構中小企業大学校、福島県ハピケン、会議所 等

(新)効果的な企業誘致に向けた動向調査を実施

～企業誘致活動事業～



150万円

財源区分：単独

若年層の流出防止や移住・定住促進につながる企業誘致を効果的に進めるため、首都圏企業等を対象とした投資動向調査を実施します。

概要

目的：調査をもとに、効果的な誘致施策を展開し、若年層が就職先として希望する企業の誘致につなげる。

対象：若年層が就職先として希望する首都圏等企業

内容：対象業種の企業に、首都圏以外への進出可能性や、進出にあたっての条件等を調査する。

スケジュール



調査イメージ

【若年層の就職動向分析】



就職活動の際に重視する要素や希望する業種などについて分析

【調査対象企業抽出】



ターゲット業種を絞り、対象企業を抽出

【アンケート調査】



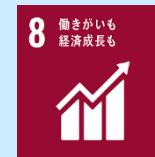
対象企業にアンケート調査

【結果分析】



結果を分析し、施策を検討

(拡)文化・スポーツ・観光の融合による戦略的な観光の推進



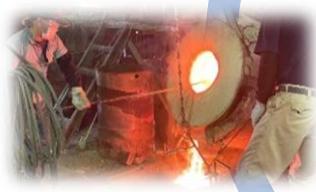
文化・スポーツ・地域資源など本市の特性を活かした、戦略的な観光振興を図り、地域社会・経済に好循環を生む持続可能な観光地域づくりを推進します。

～文化・スポーツ・観光の融合～



文化・歴史

インバ カド（訪日外国人）の増加



産業
(農・商・工)

工場見学・オーブンファクトリー



歴史情報博物館のOPEN

スポーツ
・音楽



開成山地区体育施設のOPEN

自然・環境



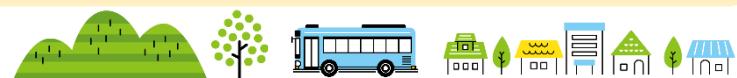
猪苗代湖のラムサール条約湿地登録



INAICHI (猪苗代湖一周サイクリング)



地域社会・経済の好循環に向けた
サステイナブル（持続可能）な観光の推進
(観光政策課・文化振興課・スポーツ振興課)



II 暮らしの充実・笑顔になれるまち

新

郡山市名誉市民 西田敏行展

「愛してゐぞ～い！」の開催



990万円

元フロンティア大使の故・西田敏行氏が名誉市民になられたことから、写真や映像の展示等を通じて、同氏の軌跡・活動を振り返る企画展を開催しました。

1 概要

期間 2025年9月6日(土)～28日(日)

会場・展示内容

①市立美術館

出演作品のスチール写真・パンフレット、衣装等 約150点展示

②歴史情報博物館

学生時代の写真、文集、動画等 約50点展示

③タワーレコード郡山店

西田氏のCD、DVD、書籍の販売、フォトスポットの設置 他

スタンプラリー

3つの会場を巡った方にオリジナルステッカーを配布するスタンプラリーを実施

結果

3施設合計来場者：延べ34,642人

スタンプラリー参加者： 4,869人



《歴史情報博物館》



《歴史情報博物館》



《タワーレコード》

2 特別イベント

①スペシャルトーク・大合唱

日 時：9月13日(土)

13:00～15:00

会 場：美術館 石庭

参加者：約200人

※総応募者1,183人から

抽選

備 考：ラジオ生中継

スペシャルトーク

箭内道彦 × 宮藤官九郎
【フロンティア大使】 【脚本家】

両者の西田氏との思い出
やエピソードトークから、西田氏の様々な側面
を来場者に伝えた。

大合唱

小原田小学校児童 30人
小原田中学校生徒 15人

児童生徒による合唱披露
「もしもピアノが弾けたなら」
「あの街に生まれて」



②映画観賞会

日 時：9月7日(日) 14:00～16:00

27日(土) 18:00～20:00

会 場：美術館 多目的スタジオ

参加者：両日約100人 ※総応募者311人から抽選

作 品：9/7 「学校」

9/27 「虹をつかむ男」



II 暮らしの充実・笑顔になれるまち

(新) 日本遺産「一本の水路」RPGの制作



458万円

～ 日本遺産魅力発信推進事業 ～

一本の水路のストーリーを活かしたRPG（ロールプレイングゲーム）を制作して、ゲームを通じた観光誘客や地域活性化を図ります。

1 背景

- 地方創生RPG（ご当地スマホゲーム）が注目されている
- 歴史や自然、特産品やグルメを遊びながら学べる
- 「一本の水路」の歴史ストーリーはRPGを構成する要素が多く、親和性が高い

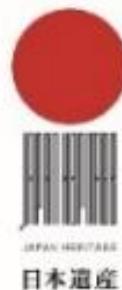
【イメージ】
淡路島観光協会
日本遺産RPG
はじまりの島



2 特徴・効果

- ①ワークショップによる市民参画型のゲーム制作
⇒ゲームを通じたまちへの愛着を深める
- ②リリースイベントやSNS等による情報拡散
⇒情報が拡散し「一本の水路」の認知度が向上する
- ③GPS機能を活用して現地を訪れると特別アイテムや割引クーポンが入手できる
⇒観光誘客と交流人口の増加につながる
- ④日本遺産を活かしたゲームによる魅力発信
⇒20～40代の新たなファンを獲得

3 スケジュール



新

「ふくしまDC」を好機とした 郡山市・こおりやま広域圏への誘客



678万円

2026年4～6月に開催される「ふくしまデスティネーションキャンペーン」本番に向け、美しい自然や温泉、歴史、文化、食などを県内外にPRし、誘客に取り組みます。

1 ふくしまDC（デスティネーションキャンペーン）

■ 主催

福島県・JRグループ

■ 内容

JRグループ6社と地域が一体となって、3か月にわたり、重点的・集中的に全国で宣伝販売を行う国内最大規模の観光キャンペーン



■ キャッチコピー

「しあわせの風ふくしま」

※前回DCキャッチコピー
「福が満開、福のしま。」は県の観光ブランドへ



■ 開催期間

2026（令和8）年4～6月

※プレDC … 2025（令和7）年4～6月

アフターDC … 2027（令和9）年4～6月（予定）

■ プレDC期間イベント

- ・オープニングセレモニー in 郡山駅ほか
- ・全国宣伝販売促進会議 in ホテルハマツ
- ・特別列車SATONO（さとの）の運行等



2 郡山市・こおりやま広域観光協議会の取組み

■ プレDC期間の取組み

ふくしまならではの特色をアピールする“DC特別企画”を実施し、郡山市及びこおりやま広域圏への誘客を図る



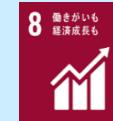
■ ふくしまDC本番に向けて

関係団体と連携し、コンテンツの発掘、磨上げ、PRを行う

II 暮らしの充実・笑顔になれるまち

継

インバウンド受入れ推進による 郡山市への誘客

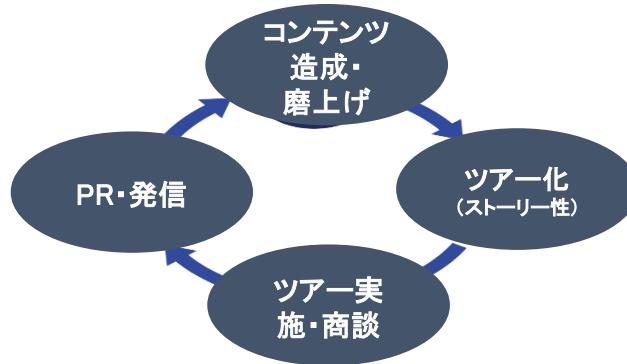


914万円

本市の地域資源を活用した観光コンテンツの造成、モデルツアーア化を図り、アジア地域（台湾・タイ）からのインバウンド観光客の誘客に取り組みます。

1 郡山市の取組み・現況

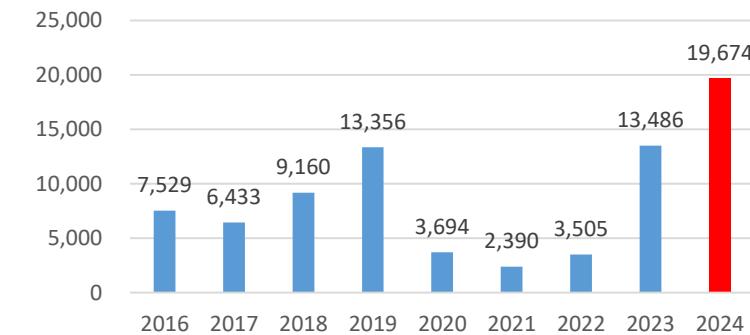
■ インバウンド誘客のサイクル



■ 情報発信ツール



■ 郡山市の外国人延べ宿泊者数(人)



2 台湾



■ 台湾市場

- 福島県の重点インバウンド市場で、県内の外国人延べ宿泊者数1位。福島空港⇒台湾桃園国際空港 定期チャーター便化

■ 令和7年度事業の重点施策・方向性

【教育（修学）旅行・団体旅行の誘致拡大】

- 教育旅行は、台北市政府教育局と市・市教育委員会の覚書締結により、更なる拡大を図る



3 タイ



■ タイ市場

- 福島県の重点インバウンド市場で、県内の外国人延べ宿泊者数は台湾に次ぐ2位

■ 令和7年度事業の重点施策・方向性

【インセンティブ（報奨）旅行の拡大】

- セールス代行やファームの受入れとともに、連携大学との観光プロモーション事業を実施する



II 暮らしの充実・笑顔になれるまち

継 湖南七浜の滞在環境上質化に向けた整備事業の実施 2,170万円

～ 観光資源の磨き上げとオーバーツーリズム対策等の実施 ～



郡山市の重要な観光資源の一つである猪苗代湖畔における環境整備を行い、更なる観光誘客の促進を図ります。

これまでの事業実績

■2023(R5).10月

地域住民や関係団体等から構成する「湖南七浜滞在環境等上質化協議会」設置

■2024(R6).8～9月

サウンディング調査実施（民間事業者の参画意向や事業性の有無等を調査）

■2025(R7).2月

協議会で湖南七浜利用拠点整備改善計画（案）可決

利用拠点整備改善計画概要

<計画目標>

地域と来訪者それぞれが自慢したくなる誇りある湖南七浜へ

○自然環境の保全と質の高い観光の両立

○地域経済の活性化と持続可能性の向上

○地域住民・観光客、双方の満足度向上

地域経済の活性化

誇りある湖南七浜へ

利用

保全

傑出した自然環境

今年度の事業概要

【目的】

「湖南七浜利用拠点整備改善計画」の事業イメージを仮運用した実証実験や、湖南七浜エリアへの民間事業者参入に向けた公募要項（案）の作成等により、整備事業の本格実施に向けた検証・準備を進める。

【実証実験について】

●候補日：2025(R7).9.19(金)～23(火)<5日間>

【CAMP AREA】

●キャンプ場の有料化・予約制の導入

管理棟・トイレ・シャワーの仮設、管理者の常駐により安心・安全な利用環境を構築。

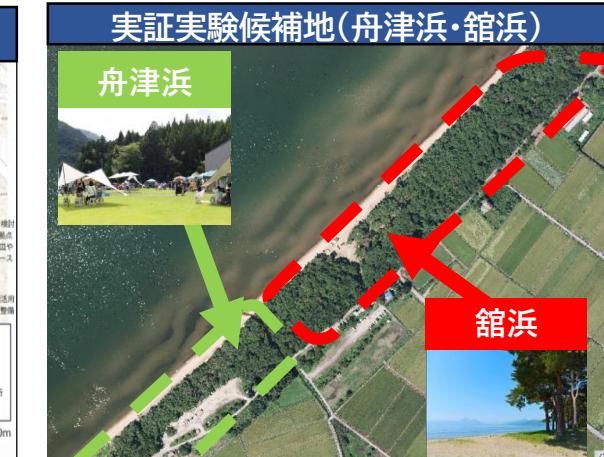
【PARK AREA】

●アクティビティの提供（SUP、仮設遊具など）

●飲食の提供（キッチンカー）

●イベントの実施（地場産品を使ったBBQ教室など）

●キャンプ禁止の声かけ



II 暮らしの充実・笑顔になれるまち

継

夏祭りなどの地域振興イベントの実施



3,810万円

～ 郡山市を代表する各種イベントの開催（実行委員会への支援）～

うねめまつりや湖まつりなど、商工会議所をはじめ、関係団体と連携した地域振興と観光交流を促進します。

第61回郡山うねめまつり 実行委員会

■開催期間 8月7日（木）～9日（土） 観光客数 12万9千人※R6

昭和40年に安積郡9町村が郡山と合併し、市民が一体となれるまつりとして、郷土伝説「采女伝説」を主題として誕生。

前回は、市制施行100周年記念として、新しい踊り「采女ドンドコ」の披露やメタバースイベントを実施。

うねめ供養祭、うねめ踊り流し、ゆかたDEうねめコンテスト、采女ドンドコ、メタバースイベント ほか



供養祭



采女ドンドコ



奈良市からの訪問団

湖南まつり 実行委員会

■開催期間 湖まつり：7月19日（土） 観光客数 約1万5千人
布引高原まつり：8月24日（日） 観光客数 約3千500人

郡山市湖南町の豊かな観光資源や特産品を周辺地域に広くPRすることで、地域おこしのための観光振興を図る。

「湖まつり」と「布引高原まつり」が開催され、毎年、多くの観光客が訪れている。

布引高原まつり
大根収穫体験

湖まつり



湖まつりの花火

水難防止祈願祭、たらい舟体験、ゴザ走り、バルーンショー、フラ・タヒチアンダンス、納涼花火大会 ほか

II 暮らしの充実・笑顔になれるまち

継

夏祭りなどの地域振興イベントの実施



3,810万円

～ 郡山市を代表する各種イベントの開催（実行委員会への支援）～

こおりやまSAKE&発酵まつり 実行委員会

安積開拓によって豊かな水と大地に恵まれた郡山市には、日本酒やワイン・ウィスキーに加え、味噌や醤油など、多様な発酵食品が存在。

こうした優れた食文化を発信し、產品の販売促進と地産地消の推進、発酵文化の継承のため、「発酵」をキーワードに各種イベントを開催。

■開催期間

ウィスキーコレクション郡山：9月20日（土）

発酵まつり：10月11日（土）、12日（日）※こおりやま産業博と同時開催

SAKEまつり：11月6日（木）

参加者数 約2千人（3イベント合計）※R6



ウィスキーコレクション郡山



発酵まつり



SAKEまつり

ビッグツリーページェントフェスタ 実行委員会

■開催期間 12月上旬～2月中旬

平成12年～16年までは、郡山青年会議所が開成山公園を会場に開催したのが始まり。

現在は、郡山駅西口駅前広場、東口駅前広場、駅前大通りにイルミネーション（46万球）を設置。



14

つるりんこまつり 実行委員会

■開催時期 12月7日（日）

平成8年から、磐梯熱海温泉の誘客イベントとして実施。

「スポーツ温泉コンベンション」の誘致に向けたPRや郡山スケート場など周辺施設の利用を促進し、地域振興を図る。

氷上綱引き大会、スケート教室、石筵ふれあい牧場「移動動物園」ほか



III 経済の活性化

○ 事業者のバイタリティ向上支援



375万円

～こおりやま中小企業活性化事業の一部～

フェーズ

【創業期】

→ 【発展期】

→ 【安定期】

【事業承継】

現下の不安定な国際情勢による物価高騰の厳しい状況の中で、事業再構築や経営の見直し等に取り組む事業者を支援します。

○ 事業者等向け専門家活用支援事業

300万円

事業者が、事業再構築・業態転換等に向けた事業計画の策定や補助金の申請にあたって専門家の支援を受けた際に、その費用の一部を補助

- 対象者：市内の中小企業等
- 活用可能な専門家：公認会計士、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士、民間コンサル 等



○ 補助対象経費及び補助額

補助対象	補助額 (基本額)	上乗額	補助率
国の事業再構築補助金 (新分野展開、業態転換等)	10万円	20万円	1/2
国のものづくり補助金 (サービス開発、生産プロセス改善の設備投資等)	10万円	10万円	1/2

※「DX化」又は「GX化」を踏まえた取り組みには上乗せ補助

○ BCP等策定等支援補助金

45万円

新型コロナウイルス感染症や自然災害等を想定したBCP(事業継続計画)等の策定・改定を行う費用を補助

- 対象者：市内の中小企業等
- 補助率：4/5 ○ 上限額：5万円



○ BCP等策定集団指導事業

30万円

商工団体等が実施するBCP等計画策定に関するセミナー・個別相談会への補助

- 対象者：市内の商工団体等
- 補助率：1/2 ○ 上限額：30万円



(産業雇用政策課)

III 経済の活性化

(新) 事業者の省力化投資と脱炭素経営をサポート

～こおりやま中小企業活性化事業の一部～



400万円

財源区分：単独

フェーズ

【創業期】

→ 【発展期】

→ 【安定期】

【事業承継】

売上拡大や生産性向上を後押しするため、人手不足解消を実現する省力化への投資を支援するとともに、脱炭素経営の促進にも取り組みます。

(新) 中小企業等生産性向上支援事業

100万円

(新) 中小企業等脱炭素経営促進事業

300万円

1 概要

対象者：市内の中小企業等

補助率：対象経費の1/4

上限額：100万円

【参考】

国の中小企業省力化投資補助金

人手不足解消に効果がある省力化製品をカタログから選んで導入し、その経費の一部を補助（中小企業庁：補助率1/2）。簡易で即効性がある中小企業等の省力化投資を促進する。



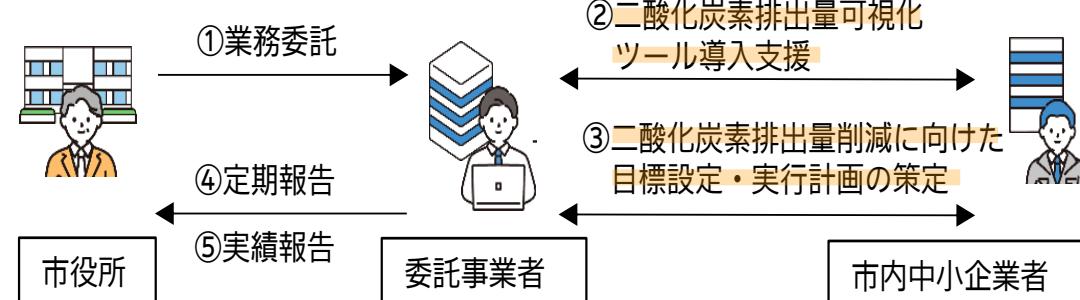
【支給イメージ】



【導入イメージ】

企業活動に伴う、電気・ガス等のエネルギー使用状況やエネルギー種別に応じた二酸化炭素排出量を数値化し、業務改善などによる二酸化炭素排出量削減に向けた目標設定及び実行計画の策定を支援する。

1 事業スキーム



2 支援対象

5者程度

III 経済の活性化

⑤ 事業の変革・継続を支える融資制度

～中小企業融資制度事業～



28億8,724万円

フェーズ

→ 【創業期】

→ 【発展期】

→ 【定期期】

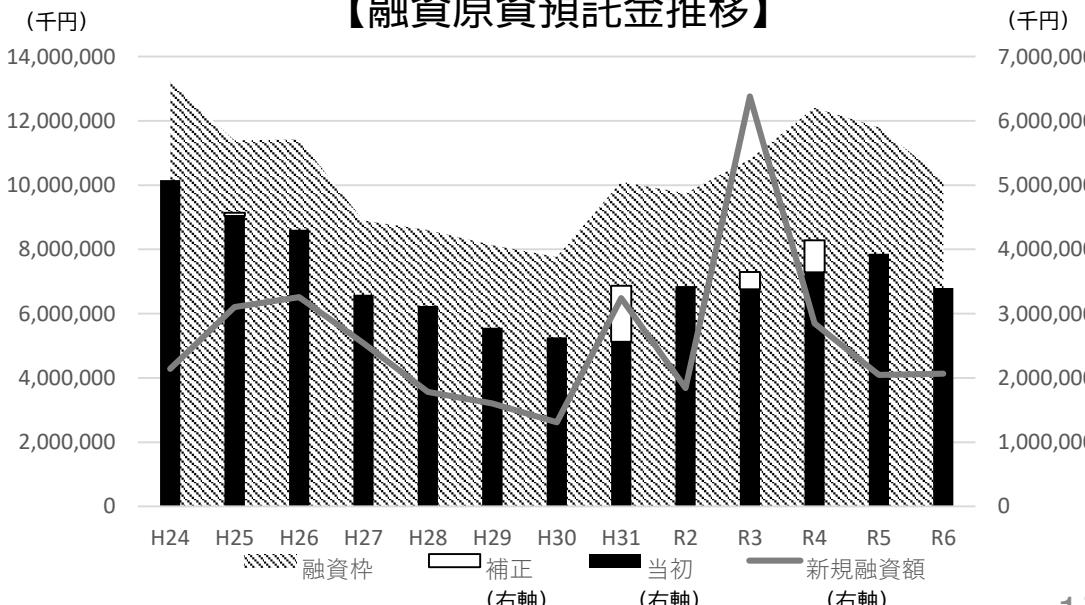
→ 【事業承継】

市内中小企業者の資金需要に対応した市融資制度を運営し、中小企業者の経営の安定等を図ります。

⑤ 中小企業融資制度預託金	28億2,612万円	⑤ 信用保証料補助金	3,206万円
---------------	------------	------------	---------

金融機関へ融資の原資となる預託金を提供することにより、事業者の資金繰りを支援し、経営安定化を図ります。

【融資原資預託金推移】



⑤ 利子補給補助金

2,886万円

中小企業融資制度を利用した事業者が、対象期間に支払った利子についての補助
 ○補助率：10/10
 ※一般融資、成長融資は補助率1/2・上限50万円

III 経済の活性化

(拡) マーケットメイキングによる

企業サステナビリティの向上

～創業・事業承継支援事業の一部、郡山産品販路拡大事業～



1,590万円

フェーズ

【創業期】

→ 【発展期】

→ 【定期期】

→ 【事業承継】

事業や販路拡大に取り組むとともに、技術・知識等の貴重な経営資源を次世代に引き継ぐため、関係機関と連携し、事業承継に取り組む事業者の伴走支援や経費の支援を行います。

（継）郡山産品販路拡大事業 [伴走支援] 1,000万円

商工会議所や商工会、JA福島さくら等との連携・協奏により「こおりやま産業博」を開催し、市内事業者の商品等の販路開拓を支援

○2024年度 出展数 162社・団体、280ブース
来場者数 23,813人



（新）全国菓子大博覧会出展事業 [資金支援] 20万円

福島県菓子工業組合に出展補助金を交付し、県・市産菓子のPRによる販路拡大を図ります。

○開催地 北海道旭川市

○期間 2025年5月30日～6月15日



18



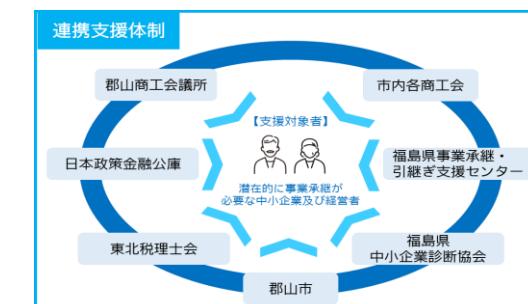
（継）事業承継支援補助金 [資金支援] 70万円

事業承継及びM&Aに要する費用を補助します。

種 別	補助率・上限	備 考
第三者承継	1/2・30万円	事業承継、承継後の販路開拓に要する費用
親族承継等	1/2・10万円	承継後の販路開拓に要する費用

（継）後継者不在企業に対する事業承継促進事業 [伴走支援] 500万円

- 事業承継希望者を対象に、支援機関と連携しながらマッチングを促進
- アンケート調査により各事業者の課題を抽出し、情報提供



○事業承継希望者への
伴走支援（ウェブサポー
ト活用したマッチング支援、
士業派遣等）
○オンラインセミナー 等

（産業雇用政策課）

III 経済の活性化

(拡) 農商工(福)の融合によるイノベーション創出

～農商工連携推進事業の一部等～

農商工(福)融合によるシナジー効果を生み、販路拡大の機会を創出します。



3,549万円

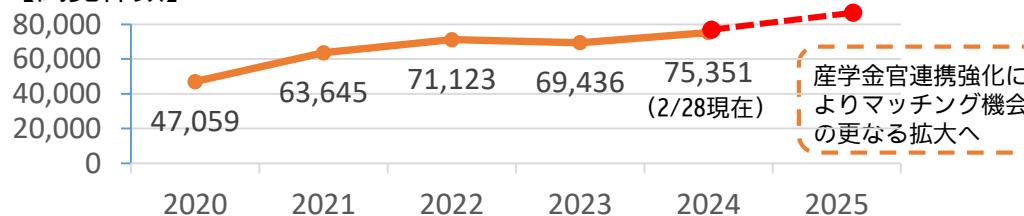
(継) 広域圏農福商工連携企業・団体ガイド 99万円

無料登録制の専用ウェブサイトにより、農福商工の各事業者が持つシーズやニーズを可視化し、新たなビジネスマッチングの機会を創出

【掲載事業者数】

農業	福祉	商業	工業	合計
34	9	41	183	267

【閲覧件数】



(継) 農商工連携イベント開催 2,950万円

マッチングや販路拡大の機会の創出を目的に、農商工が一体となったイベントを開催

- 郡山産品販路拡大事業(こおりやま産業博) 1,300万円
- サマーフェスタ開催事業 1,500万円
- (仮称) こおりやまフードフェス開催事業 150万円

(拡) 農福商工連携イノベーション推進補助金 500万円

- ・「農福商工連携企業・団体ガイド」に登録されている本市事業者の連携による、6次産業化、製品開発、販路開拓等を産学金官により後押し
- ・農商工(福)連携により新たなイノベーションを誘発
- ・地域の「稼ぐ力」や「競争に強い商品・サービス」の創出

メニュー	対象経費	補助率	上限額
新サービス 新商品開発	新サービス、新商品開発に係る経費 (報償費、旅費、通信・運搬費、賃借料、原材料等費、加工費、委託費)	1/2	200万円
販路拡大	海外市場等への販路拡大に要する経費 見本市・展示会等の出展経費	1/2	50万円

III 経済の活性化

(拡) 農商工(福)の融合による

輸出促進・マーケット開拓

～農商工連携推進事業・農産物等海外連携事業等の一部～

農商工(福)融合によりタイパ・コスパをアップし、更なる輸出促進を図ります。



1,127万円

継 為替変動・輸出対策・企業連携研究事業 69万円

○ 「為替変動・輸出対策・企業連携研究会」の開催

協奏・連携のもと、調査研究・情報共有を図り、農福商工連携や輸出を促進（3回 開催予定）

○ 輸出促進・農福商工連携推進セミナーの開催

研究会のメンバー

【行政】

- ・県中地方振興局
- ・県中農林事務所
- ・こおりやま広域圏

【商工団体】

- ・商工会議所
- ・商工会 等

【金融機関】

- ・日本政策金融公庫
- ・地元地方銀行 等

協奏・連携

【郡山市】

- ・農商工部
- ・文化スポーツ観光部
- ・保健福祉部
- ・農業委員会 等

輸出

【海外展開支援機関】

- ・JETRO福島
- ・JICA

【農業団体】

- ・JA福島さくら
- ・農業法人連絡会 等

(拡) 輸出・マーケティング促進事業 1,058万円

事業効果を最大限に發揮するため
農商工部産業雇用政策課へ集約

タイ販路開拓支援事業 640万円

新たな海外販路としてタイとの交流事業を継続し、企業の収益力の向上、地域経済を活性化



ベトナム輸出プロモーション事業 378万円

輸出成約・有望商品のプロモーション活動

現地小売店でのフェア実施や代行営業活動
(セールスレップ) を実施

JETRO連携翻訳支援事業 40万円

ジェトロが海外バイヤー向けに開設した、招待バイヤー専用オンラインカタログサイト「JAPAN STREET」の翻訳を支援

III 経済の活性化

○ 繼 事業者のDX推進を重点支援・ 補助金・助成金の活用促進

～産業DX推進事業・こおりやま中小企業活性化事業・
産業イノベーション事業の一部～



1,572万円

フェーズ 【創業期】 → 【発展期】 → 【定期】 【事業承継】

DXに先進的に取り組む事業者を後押しするため、伴走支援や経費の支援等を重点的に行います。

○ 繼 産業DX推進支援体制構築事業（商業）	473万円
○ 繼 産学官連携コーディネート ・DX加速化支援事業（工業）	833万円
○ 繼 DX推進補助金	200万円

専門家による伴走支援・成果報告会等



商工会議所、商工会、中小企業診断士、コンサルタント、
デジタル技術導入アドバイザーなど

取組みへの経費支援

対象者	補助率	上限額
産業DX推進支援体制構築事業採択者	2/3	40万円
DX加速化支援事業採択者	2/3	100万円

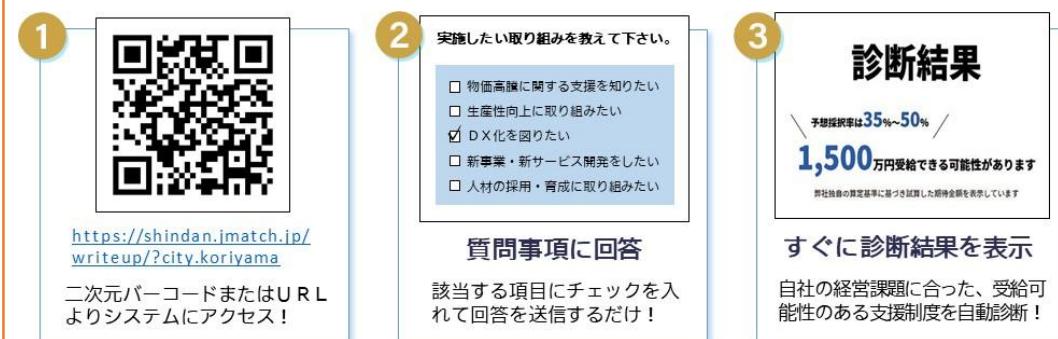
○ 繼 補助金・助成金診断システム 66万円

市内事業者の補助金・助成金の活用を促進することにより、経済の活性化を図ります。

システム概要

スマートフォン等からいくつかの質問事項に回答するだけで、自社の経営課題に合った、国・県・郡山市の補助金・助成金とその受給見込額が自動診断されます。

システム利用の流れ

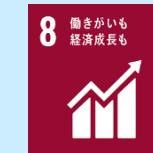


※申請相談にも対応

III 経済の活性化

拡 知財で企業の稼ぐ力の向上と海外販路開拓

～知的財産活用推進事業・産業イノベーション事業～



853万円

拡 知的財産戦略支援事業 (R5年度～) 213万円

□ 事業目的

- ・知的財産の権利化、事業化を支援することで知的財産を戦略的に活用できる企業を増やす

□ 事業概要

- ・知的財産専門機関(福島県発明協会)へ事業委託
- ・支援企業の状況に応じた専門家による支援チームの編成
- ・知的財産の権利化と経営資源化をチームで支援



※専門家チーム：弁理士、バイヤー、デザイナー等

□ 2024(R6)年度実績

- ・企業支援件数：52件
- ・知的財産出願件数：11件
特許権：1件
意匠権：7件
商標権：3件

※企業支援件数は延べ数



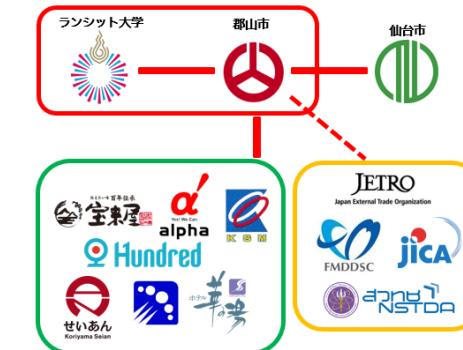
拡 タイへの海外販路開拓事業 (R6年度～) 640万円

□ 事業目的

- ・新たな海外販路としてタイとの交流事業を構築し、企業の収益力の向上、地域経済の活性化を図る

□ 事業概要

- ・ランシット大学(タイ)等各種ステークホルダーと協働で、企業の海外進出、輸出を促進
- ・本市の強みである「医療福祉」「健康食品」分野で販路開拓を支援



販路開拓のためのプラットフォームの構築

□ 事業スケジュール

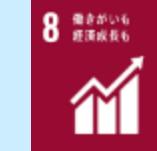
2024(R6)年		2025(R7)年		2026(R8)年	
■ ランシット大学等訪問		■ 連携協定締結 (10/29)			
			市場調査・試作品開発(医療福祉・健康食品分野)		
				製品発表・販売開始	■

(産業創出課・産業雇用政策課)

III 経済の活性化

(拡) 企業間・団地間・支援機関による 相互交流の促進

～企業誘致活動事業の一部～



500万円

こおりやま広域圏17市町村の立地企業の交流を促進し、新たな販路開拓・サプライチェーンの構築により、地域産業のさらなる活性化及び圏内総生産の向上を図ります。

(拡) こおりやま広域圏立地企業交流セミナー事業

【開催概要】

- (1) 日時：令和7年12月16日（火） 13:00～
- (2) 会場：ビッグパレットふくしま
- (3) 内容：

○第1部<基調講演>

専門家や経営経験者から、
異業種間交流や企業間マッチング事例講演



○第2部<交流会>

製品やサービス等を展示し、新たな販路開拓や
サプライチェーン構築のための情報交換
・参加企業同士の交流
・ミニプレゼンによる企業PR
・企業サポート支援機関のブース展示

【対象範囲】

こおりやま広域圏内企業・支援機関等

○圏内産業団地：67団地

○圏内民間事業所数：26,579事業所

（出典：「令和3年経済センサス-活動調査結果報告書(産業横断的集計)」）



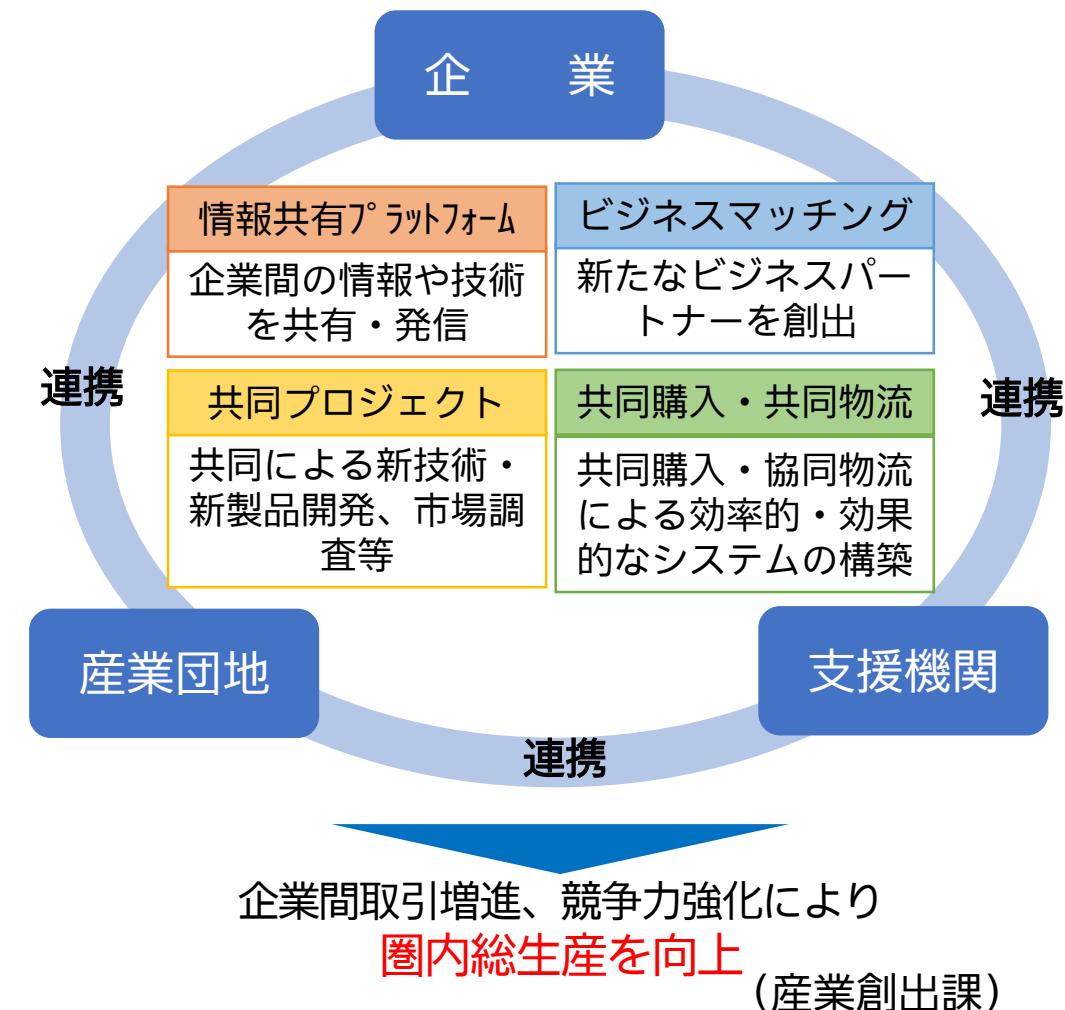
企業交流



プレゼンでPR



ブースで情報取集



III 経済の活性化

括 「6次産業化・農商工等連携推進計画」策定



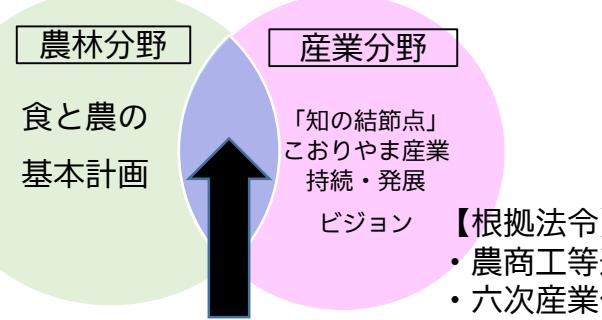
88万円

～郡山地域産業6次化推進事業費の一部～

財源区分：単独

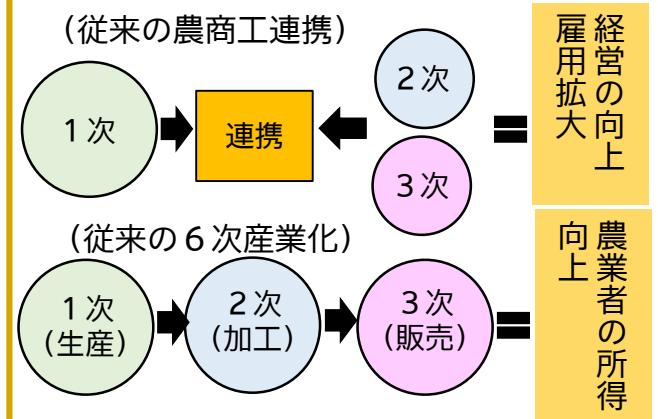
農林漁業者による「6次産業化」、中小企業と連携した「農商工連携」を一体的に推進します。

計画の位置づけ

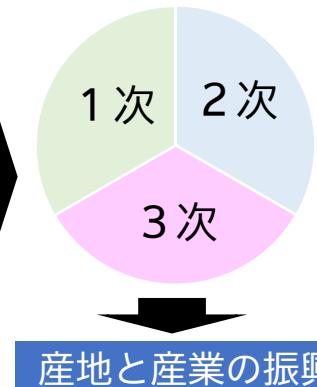


6次産業化・農商工等連携推進計画

新計画の概念



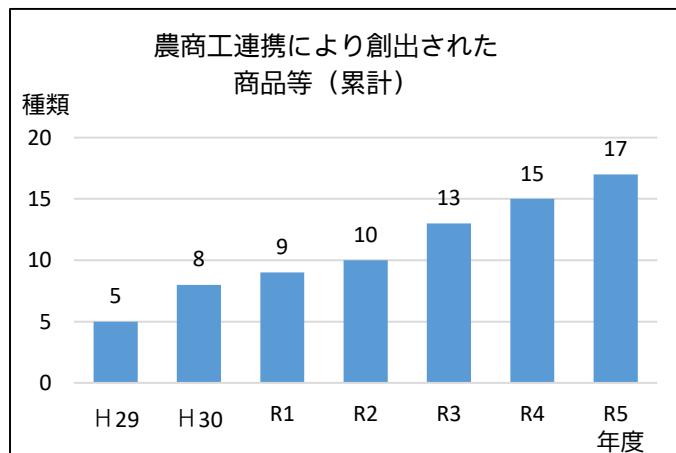
新たなプラットフォームを形成



策定方針

【バックキャスト・フィードフォワードの視点で策定】

農林漁業者による「6次産業化」や中小企業と連携した「農商工連携」を
一体的に取り組み、本市農産物を生かした魅力ある新商品の開発や販路開拓
を推進する新たな枠組みを創出



農商工連携の促進

- ・6次化実践者の育成
- ・農商工連携成功事例紹介

農業法人化の推進

- ・経営戦略に基づく安定経営

マーケットメイキング

- ・発酵文化向上や気候変動対応
- ・市場競争力のある商品づくり

販路拡大

- ・地産地消推進、輸出推進

講演会

計画を、広く市民、農業者、商工業者等
へ周知し理解を図るため、農商工連携による
成功事例の講演会を実施

【時期】2026年3月予定

【講師】農商工連携による商品開発の専門家



スケジュール

2025年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
前計画検証			有識者 懇談会 新計画素案作成 府内 検討			庁議報告 各派 会長会 説明			パブリック コメント	有識者 懇談会	講演会